



まちなかのレトロ異空間 ディープな配水池の聖域

初めての地で電車やバスに乗っているとき、車窓に異空間から舞い降りてきたような不思議な形の塔が現れて目を疑った経験はないでしょうか。これらは、水を家庭や工場、農地の隅々にまで届けるため、高い位置に置かれたタンク型の配水池という池の一種なんです。団地の「給水塔」といった小規模なものから、工業地帯に大量の用水を送る中継ぎ役の「調圧水槽」までさまざまな形状・タイプがあります。

本来、配水池は山や丘に設けられますが、高台が少ない千葉では、巨大な塔の上にタンクを置くタイプが数多く造られました。個性的なデザインのものも多く、土木遺産や有形文化財のものもあり、まさに配水池の一大聖域。一方で、ポンプ性能の向上で役割を終え、時代の流れで撤去される給水塔も出てきました。

ディープなマニアもいる配水池の世界ですが、誰でもポタリングやまち散歩の延長で楽しめる手軽さも魅力です。

「配水池」アラカルト



のがた 野方配水塔

戦時中の機銃掃射の弾痕が残る配水池。足元には災害時の用水を蓄えた地下タンクが埋設されている。国登録有形文化財。

●東京都中野区



中西条浄水場 高架水槽

浄水場でろ過設備の逆流洗浄用の水を貯水。宇宙的なデザインだったが、2022年の設備更新で一般的な形状になってしまった。(写真は設備更新前のもの)

●兵庫県加古川市



すなぐち 砂口配水池

らせんを描き天を突く「バベルの塔」を思わせる不思議な形状の上水道用配水池。東名高速からも見える珍名所。

●神奈川県足柄上郡中井町

文・イラスト・写真 市原千尋



Profile

全国2,600基のダムを含む日本の主要な池や湖沼11,000か所を車中泊で踏破。訪れた池の魅力を毎日ブログで発信。著書に「日本全国 池さんぽ」(三オブックス)。



【運営ブログ】水辺漫路
<https://bunbun.hatenablog.com>